

5

監督員事務所
(2.4.1)

・構内建物内の一部を使用する。

・設置する

監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
------	------	------	------	------	-------

監督員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

6

監督員事務所の設備、備品等
(2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量		組	台	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量		足	着	個	個
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話	FAX	冷暖房機器
数量		個	個	台	台

7

仮設便所

構内既存の施設

・利用できる

○利用できない

8

工事用水

構内既存の施設

○利用できる

(・ 有償 ・ 無償)

・利用できない

9

工事用電力

構内既存の施設

○利用できる

(・ 有償 ・ 無償)

・利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

10

交通誘導警備員

配置

○ 図示 (図面番号: A20)

3

防水改修工事

1

既存防水層の処理
(3.1.4)
(3.2.6)

既存保護層(立上り部等)の撤去

・行う (・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・POX)

・行わない

既存防水層(立上り部等)の撤去

・行う (・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・MAS

・MASI・S4S・S4SI・POX)

・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去

・行う (・MAS・MASI・M4C・M4DI・L4X)

・行わない

2

既存下地の処理
(3.2.6)

既存下地の補修箇所の計上、長さ、数量等

・図示 (図面番号:) ・ ()

POS工法、POSI工法(機械固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

・改修標準仕様書[3.2.6(4)(ウ)①~③]

・ ()

設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口等及び防水層末端部の納まり部の処理

・監督員と協議する

・ ()

3

アスファルト防水
(3.3.2)~
(3.3.5)
(表3.3.3)~
(表3.3.10)

押え金物の材質、形状及び寸法

・アルミニウム製 (L-30×15×2.0mm程度)

・ ()

屋根保護防水防水層の種類

工 法	種 別	断熱材の厚み	絶縁用シート	立上り部	
				保護	断熱材、絶縁シート
・P2A	・A-1		・ポリイソシアネート (0.15mm以上)	乾式保護材	
	・A-2				
	・A-3				
・PIB	・B-1 ・部分粘着 ・砂付		・フラットペーパー (70kg/㎡程度)	・コンクリート押え ・れんが押え	
	・B-2 ・部分粘着 ・砂付				
・P2AI	・AI-1	・ (mm)	・フラットペーパー (70kg/㎡程度)	・モルタル押え	・設置する ・設置しない
	・AI-2				
	・AI-3				
・PIBI	・B-1 ・部分粘着 ・砂付		・ ()		
	・B-2 ・部分粘着 ・砂付				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる

・ ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる

・ ()

平場の保護コンクリート

こて仕上げ 厚さ

・水下80mm以上

・ ()

平坦さ

・a種 ・b種 ・c種

・ ()

床タイル張り 厚さ

・水下60mm以上

・ ()

屋根排水溝

・図示 (図面番号:)

屋根露出防水
防水層の種類

工 法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考
			種類	使用量	
・M4C	・C-1		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()	脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける
	・C-2				
	・C-3				
	・C-4				
・M3D	・D-1		・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()	・設けない
・POD	・D-2				
・PODI	・DI-1	種類 ()	・製造所の仕様 ・ ()	・製造所の仕様 ・ ()	・設けない
・M3DI	・DI-2				
・M4DI	厚さ ()				

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

・アスファルトルーフィング製の製造所の指定

・ ()

設置数

・ ()

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフトレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

・図示 ()

屋内防水

防水層の種類

工 法	種 別	保護層
・PIE	・E-1	・設ける
・P2E	・E-2	・設けない

E-1の工程3を行う部位

・貯水槽、浴槽等常時水に接する部位

・ ()

4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) (3.4.3) (表3.4.1)～ (表3.4.3)	防水層の種類				
		工法	種別	断熱材	仕上塗料 種類 使用料	備 考
		・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1	種類 () 厚さ ()	・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる () 粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる () 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 数量 ・改質アスファルトシートの製造所の指定 () 設置数量 ・改質アスファルトシートの製造所の指定 () 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置しない 押え金物の材質、形状及び寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×20mm程度 ・()				
5	合成高分子系シート防水 ルーフィング (3.5.2)～ (3.5.4) (表3.5.1)～ (表3.5.3)	屋根防水 防水層の種類				
		工法	種別	断熱材	仕上塗料 種類 使用料	備 考
		・POS	・S-F1		・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		・S4S	・S-F2 ・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		・S3S	・S-F1 ・S-F2		・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		・M4S	・S-M1 ・S-M2		・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2	種類 () 厚さ ()	・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()
		ルーフィングシートの厚み (S-F2、S-M2) ・軽歩行 (・POS ・S4S ・S3S ・M4SI) ・非歩行 (・POS ・S4S ・S3S ・M4SI) 防湿用フィルム (SI-F2、SI-M2) ・設置する ・設置しない ルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.5.1～3.5.3までによる () 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ・発泡ポリエチレンシート ・() 固定金具の材質及び寸法形状 ・厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又は樹脂積層加工した鋼板 ・() 脱気装置の種類及び設置数量 ・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・() 接着工法の目地処理 ・プレキャストコンクリート下地 (・) プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け ・建築基準法に基づき定まる風圧力の () 倍の風圧力に対応した工法				
6	塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1)～ (表3.6.3)	屋内防水 防水層の種類				
		工法	種別	保護層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ 工法 立上り部の保護モルタルの塗厚 ・床塗り工法 ・7mm以上 ・下地モルタル塗り ・()		
		・P1S	S-C1			
		床塗りの場合の床の目地 目地割り (・2m程度 最大目地間隔3m程度 ・) 目地の種類 (・押し目地 ・)				
7	シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	屋根防水 防水層の種類				
		工法	種別	仕上塗料 種類 使用料	備 考	
		・POX	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H	・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()	
		・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H	・製造所の仕様 ・()	・製造所の仕様 ・()	
		ウレタンゴム系塗膜防水X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量 ・主材料の製造所の仕様 ・()				
		屋内防水 防水層の種類				
		工法	種別	保護層 ・P1Y ・Y-2 ・設ける ・設けない ・P2Y ・Y-2 ・設ける ・設けない		
7	シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	材料				
		種類	材種	施工箇所		
		・SR-1	シリコーン系	面台、壁見切部		
		○ MS-2	変成シリコーン系			
		・PS-2	ポリサルファイド系			
		・PU-2	ポリウレタン系			
		工法				
		・シーリング充填工法	・シーリング再充填工法			
		・拡幅シーリング再充填工法	・ブリッジ工法			
		シーリング材の試験				
		・簡易接着性試験	・引張接着性試験	・行わない		

8	とい (3.8.2) (表3.8.1) (表3.8.2)	材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管) ・ ()																														
		とい受金物及び足金物 <table border="1"> <tr> <th>といの材種</th><th>形状</th><th>取付け間隔</th></tr> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> 工法 ・ 図示 (図面番号:)	といの材種	形状	取付け間隔																											
といの材種	形状	取付け間隔																														
9	アルミニウム製 笠木 (3.9.2)(3) (表3.9.1) (3.9.3)(2) (3.9.2)(4) (3.9.3)	部材の種類 <table border="0"> <tr> <td>・ 押出し250形</td><td>・ 押出し300形</td></tr> <tr> <td>・ 押出し350形</td><td>・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())</td></tr> </table> 固定金具の間隔 (mm) 固定方法 ・ () 表面処理 ・ () 工法 <table border="0"> <tr> <td>既存笠木等の撤去</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td></tr> <tr> <td>下地補修の工法</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td></tr> <tr> <td>板材折曲げ形の笠木の取付方法</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td></tr> <tr> <td>笠木固定金具の工法</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td></tr> </table> 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。	・ 押出し250形	・ 押出し300形	・ 押出し350形	・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())	既存笠木等の撤去	・ 図示 (図面番号:)	下地補修の工法	・ 図示 (図面番号:)	板材折曲げ形の笠木の取付方法	・ 図示 (図面番号:)	笠木固定金具の工法	・ 図示 (図面番号:)																		
		・ 押出し250形	・ 押出し300形																													
・ 押出し350形	・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())																															
既存笠木等の撤去	・ 図示 (図面番号:)																															
下地補修の工法	・ 図示 (図面番号:)																															
板材折曲げ形の笠木の取付方法	・ 図示 (図面番号:)																															
笠木固定金具の工法	・ 図示 (図面番号:)																															
4	外壁 改修 工事	1 施工数量調査 <table border="0"> <tr> <td>・ 行う</td><td>・ 行わない</td></tr> <tr> <td>調査範囲</td><td>・ 全面 ・ ()</td></tr> <tr> <td>調査項目</td><td>・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上)</td></tr> <tr> <td></td><td>・ はがれ及びはく落部分</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 浮き部</td></tr> <tr> <td>調査方法</td><td>・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)</td></tr> <tr> <td>報告書</td><td>2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)</td></tr> </table>	・ 行う	・ 行わない	調査範囲	・ 全面 ・ ()	調査項目	・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上)		・ はがれ及びはく落部分		・ 浮き部	調査方法	・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)	報告書	2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																
		・ 行う	・ 行わない																													
調査範囲	・ 全面 ・ ()																															
調査項目	・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上)																															
	・ はがれ及びはく落部分																															
	・ 浮き部																															
調査方法	・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)																															
報告書	2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																															
2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外壁</th><th>種類</th><th>改修工法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ コンリート打放し 仕上げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td> ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 </td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td>・ 充填工法</td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上 げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td> ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 </td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td> ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 </td></tr> <tr> <td rowspan="2"></td><td>浮き部</td><td> ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 </td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ 外壁</td><td>ひび割れ部</td><td>・ 樹脂注入工法</td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td> ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 </td></tr> <tr> <td rowspan="2"></td><td>浮き部</td><td> ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 </td></tr> <tr> <td>目地</td><td> ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 </td></tr> <tr> <td>・ 塗り仕上げ外壁</td><td>新規仕上げ</td><td> ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り </td></tr> </tbody> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り仕上 げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法		浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法			・ タイル張り仕上げ 外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法		浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法	・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り
外壁	種類	改修工法																														
・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																														
	欠損部	・ 充填工法																														
・ モルタル塗り仕上 げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																														
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																														
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																														
・ タイル張り仕上げ 外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法																														
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																														
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																														
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法																														
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り																														
3	改修工法等 (4.2.4)(1) (4.2.5) (4.3.6) (4.4.6)	・ 樹脂注入工法 <table border="0"> <tr> <td>種類</td><td>・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>注入量 ()</td><td>注入間隔 ()</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>注入量 ()</td><td>注入口間隔 ()</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>注入量 ()</td><td>注入口間隔 ()</td></tr> </table> コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 抜取り個数 () ・ 抜取り部分補修方法 ()	種類	・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	注入量 ()	注入間隔 ()		・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	注入量 ()	注入口間隔 ()		・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	注入量 ()	注入口間隔 ()																		
		種類	・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	注入量 ()	注入間隔 ()																											
	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	注入量 ()	注入口間隔 ()																													
	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	注入量 ()	注入口間隔 ()																													
(4.2.4)(2) (4.2.6) (4.3.7)	・ Uカットシール材充填工法 <table border="0"> <tr> <td>材料</td><td>・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 可とう性エポキシ樹脂充填</td></tr> </table> シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない	材料	・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())		・ 可とう性エポキシ樹脂充填																											
材料	・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())																															
	・ 可とう性エポキシ樹脂充填																															
(4.2.4)(3) (4.2.7) (4.3.8)	・ シール工法 <table border="0"> <tr> <td>材料</td><td>・ パテ状エポキシ樹脂</td><td>・ 可とう性エポキシ樹脂</td></tr> </table>	材料	・ パテ状エポキシ樹脂	・ 可とう性エポキシ樹脂																												
		材料	・ パテ状エポキシ樹脂	・ 可とう性エポキシ樹脂																												
(4.2.4)(4) (4.2.8) (4.3.9)	・ 充填工法 <table border="0"> <tr> <td>材料</td><td>・ エポキシ樹脂モルタル</td><td>・ ポリマーセメントモルタル</td></tr> </table>	材料	・ エポキシ樹脂モルタル	・ ポリマーセメントモルタル																												
材料	・ エポキシ樹脂モルタル	・ ポリマーセメントモルタル																														
(4.3.5)(5) (4.3.10)	・ モルタル塗替え工法 <table border="0"> <tr> <td>材料</td><td>・ 現場調合材料</td><td>・ 既調合材料</td></tr> <tr> <td></td><td>・ 既製目地材の適用及び形状 ()</td><td>・ 仕上げ厚 ()</td></tr> </table>	材料	・ 現場調合材料	・ 既調合材料		・ 既製目地材の適用及び形状 ()	・ 仕上げ厚 ()																									
材料	・ 現場調合材料	・ 既調合材料																														
	・ 既製目地材の適用及び形状 ()	・ 仕上げ厚 ()																														

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認 	工事名称	設計日
			一級建築士	一級建築士	一級建築士				南部保育所児童用トイレ改良工事		R5/8/31	
			第320204号	第378328号	第360917号				図面名称		縮 尺	図面番号
			前野 将輝	加藤 早紀	前田 祐作					建築工事 特記仕様書 2	A3: NS	A02